

「看護師さんに感謝を届ける」Tシャツプロジェクト

卓球男子日本代表選手のサイン入りTシャツを150施設に贈呈

サンクスナース活動の経緯

「看護の日」が制定されるなど、看護の重要性が改めて認識され始めた1993年に故・日野原重明先生をはじめとする数名のメンバーで、看護職への感謝を届ける「サンクスナース」プロジェクトはスタートしました。その後、NPO法人キャンサーリボンズが引き継ぎ、世界をコロナ禍が襲った2020年から、看護職への感謝のメッセージの募集と発信に再び取り組んでいます（全国から集まったメッセージは、「サンクスナース」webサイトでお読みいただけます）。

Tシャツプロジェクトが始動

このほど新たに、卓球界から看護職への感謝の気持ちが私どもに託されました。卓球男子日本代表チームの水谷隼さん、丹羽孝希さん、張本智和さんによる共同の感謝メッセージとサイン入りTシャツを贈りたいというお申し出です。そこで、日本卓球協会のご協力を得て、卓球男子日本代表チームに公式ウェアを提供する(株)VICTASと共に、『「看護師さんに感謝を届ける」Tシャツプロジェクト』を立ち上げ、日本看護協会、各都道府県の看護協会、希望される医療機関にお届けします。一方では、Tシャツを返礼品として広くご寄付を募り、医療者支援の活動に充当させていただく予定です。

「ありがとうで咲かす笑顔」への賛同

最後に、日本看護協会の福井トシ子会長からいただいた言葉を紹介します。「1990年『看護の日』制定当初から看護職支援を継続してくださっている『サンクスナース』プロジェクトの皆様、そして卓球でご活躍されている3選手による本企画の実施に、心より感謝申し上げます。皆様からの温かいメッセージ、シンボルマーク「ありがとうで咲かす笑顔」が届けられることは、最前線でコロ

ナに対応する看護職にとって大きな励みになります」

私どもの活動へのエールに、この場を借りてお礼を申し上げるとともに、これからも看護職の皆さまに感謝を伝え続けてまいります。



「サンクスナース」プロジェクト 共同代表
NPO法人キャンサーリボンズ 副理事長
岡山慶子



卓球男子日本代表選手3名のサイン入りTシャツの申込方法

- ・申込方法：「サンクスナース」プロジェクトwebサイトの申込フォームに入力

<https://www.thanksnurse.jp> (QRコードから申込できます)

- ・申込締切：2022年2月末日

※サインはプリントです。

※150施設への贈呈を予定。応募多数の場合、抽選。当選発表は3月中の発送をもって代えさせていただきます。

※感謝の共同メッセージとTシャツは院内での展示をお願いします。

主催：「サンクスナース」プロジェクト、株式会社VICTAS

特別協力：公益財団法人日本卓球協会

協力：一般社団法人卓球で日本を元気にする会、株式会社朝日エル

